



在宅医療と介護の連携

第24回

～身近な事例から～

人生会議のすすめ

子どもがいない80歳代の夫婦の事例です。妻は長年全ての家事をしていましたが、最近は膝・腰が痛み、家事が大変になりました。夫は認知症で、話のつじつまが合わない・散歩で迷子になってしまうことがあり、妻の援助で生活していました。

ある日、夫が散歩中に転倒し、骨折して入院すると、環境の変化で認知症の症状が悪化し、食事量が減ってしまいました。医師からは胃ろうの造設、施設への入所を勧められていますが、妻は夫の希望が分からず困っています。

人生会議

もしもの時のために、自分が望む医療・介護について、家族や医療・介護関係者などと話し合い、共有する取り組みです。病気や事故などは突然やってきます。その時に備え、人生を振り返り、自分が大切にしていることを家族や周りの人に伝えてみませんか？